

旧約聖書の中の祈り⑤

熊本聖書フォーラム

2020年5月10日

出典：MBS146 “Prayer in the Old Testament” Arnold G. Fruchtenbaum, TH.M., PH.D.

本日の祈りの箇所は、6か所 P.2

- 旧約聖書の中に、全部で48
- 本日は、43番から48番の6か所
- 時系列で見ると、P.3の表
- 前半で、預言者ヨナの祈り 2つ
- 後半で、残り4つと結び
- 次回5月24日からは、「新約聖書の中の祈り」

45番 ヨナの祈り① P.6

- ヨナ2：1～9
- この祈りの背景と経緯
- ヨナ1：1～3
- Ⅱ列14：23～28
- ガリラヤ地方の出身
- 北王国ヤロブアムⅡ世の治世下

ヤロブアムⅡ世 P.7

- レボ・ハマテ・・・ガリラヤより北の地域
- アラバの海・・・死海
- 対外的には領土拡張、勢いに乗っていた
- アラムシリアの首都ダマスコまで支配下
- その東に位置する強国アッシリヤ
- アモス5：27 ダマスコのかなたへ

ヨナの使命と逃亡 P.7

- 1 : 2 ヨナに与えられた使命
- 1 : 3 逃亡
- 1 : 4 ~ 10 船が難破しそうになる
- 1 : 11 ~ 16 自分を海に投げ込ませる

ヨナは祈り、海岸へ戻される

- 1 : 17 ~ 2 : 1
- ヨナは3日間、魚の腹の中にいた
- 死体は魚の腹の中、霊魂はよみへ
- その3日が経過したとき、よみがえった
- 魚の腹の中からヨナが祈った → 2 : 2 ~ 9
- 2 : 10 魚はヨナを海岸に吐き出した

ヨナの祈りの内容 P.7～8

- 2節 冒頭でまず**総括** 「よみの中で祈った。神はそれに答え、よみがえらせてくださった」
- 3～7節 海に投げ込まれてからの**回想**
 - 3～4節 海面を浮き沈みしているとき・祈った
 - 5～6節 海の中へ沈んでいって死んだとき
 - 6～7節 穴＝よみに下ったとき・祈った・よみがえった
- 8～9節 **結論** 神に対する約束

死に際の 確信のことば（4節）

「私はあなたの目の前から追われました。
しかし、もう一度、私はあなたの聖なる宮を
仰ぎ見たいのです」 → 「**見るでしょう**」

- 信仰によって救いを受けた信者は
- たとえ不従順のゆえに肉体の死を受けるとも
- 霊的な救いは失わず、必ず神を見ることになる

ヨナの神に対する約束 P.8～9

- 8節 アッシリヤのニネベの人々に該当
- 9節 よみがえらせていただいたことに感謝
- 9節 二つの約束
- 動物の犠牲をささげます = 不従順の罪を贖う
- 私の誓いを果たします = ニネベに行って使命遂行
- 救いは神のものです

46番 ヨナの祈り② P.9

- ヨナ4：1～3
- 個人的な不平不満を申し立てた祈り
- 死を願ったが、幸い、神はこれに答えず

47番 ハバククの祈り P.9

- ハバクク3：1～19
- 中心テーマは、2節
- この年のうちに＝大患難期において
- あなたのみわざ＝イスラエルの民族的救い
- くり返してください→生き返らせてください
- 祈りの中に、再臨預言を含む

43番 ダニエルの祈り① P.3～4

- ダニエル6：10～11
- エルサレムの方を向いて←I列8：48
- 日に三度
- ひざまずいて
- 願い事を申し上げる
- 感謝をささげる

44番 ダニエルの祈り② P.4

- ダニエル9：3
- 顔を神である主に向けて
- 断食をし、荒布を着、灰をかぶって
 - 罪の告白（4～14節）
- 願い求めた → 恵みの嘆願（15～19節）
- 20節 罪を告白し・・・願いをささげて

ダニエル9章の内容 P.4

- 第1回捕囚から66年、エレミヤの「70年」の預言を知った
- ダニエルは祈った：罪の告白と恵みの嘆願
- これは、メシアの国到来の条件に従った祈り
- この祈りを受けて天使が遣わされた
- 70週「七つひとかたまりのものが70」の預言

48番 ベテルの人々 P.10～11

- ゼカリヤ7：1～7
- 1節 ダリヨス王の第4年 神殿再建工事中
- 2節 ベテルという町からの一行
- 3節 第五の月の断食←Ⅱ列25：8～10

伺いに対する主の答え 7：4～7

- 断食よりも、先の預言者たちを通して告げられたことを行いなさい
- 具体的に何をすべきかは 7：8～8：19
- さらに主の預言は続く 8：20～23
- 今回はかつて背教の拠点であったベテルから
- メシアの王国では、多くの国々の民が来る